

2025 年 10 月 29 日

オリンパス、内視鏡システム「EVIS X1™」に病変部の視認性向上をサポートする
観察モードを搭載
NBI™技術と TXI™技術を組み合わせた観察により、病変発見率および診断精度に貢献

オリンパス株式会社（以下、オリンパス）は、NBI™技術と TXI™技術を組み合わせた観察モードを搭載した内視鏡システム「EVIS X1™」のビデオシステムセンター「CV-1500」を、2025 年 11 月 4 日から国内で販売します。その他地域についても、各国の法規制対応の準備が整い次第導入していきます。なお、本製品は 10 月 30 日（木）～11 月 2 日（日）に神戸ポートピアで開催される「第 33 回日本消化器関連学会週間（JDDW）」に出展されます。



EVIS X1 ビデオシステムセンター OLYMPUS CV-1500

■ 販売の概要

製品名	販売予定日
EVIS X1 ビデオシステムセンター OLYMPUS CV-1500	2025 年 11 月 4 日

製造販売元は、オリンパスメディカルシステムズ（株）です。

「EVIS X1」は、2020 年 4 月以降全主要地域で発売しているオリンパス最上位機種の内視鏡システムです。オリンパス独自の技術である RDI™モード（Red Dichromatic Imaging）、TXI モード（Texture and Color Enhancement Imaging）、NBI モード（Narrow Band Imaging）などを搭載することで、がんをはじめとする消化器・呼吸器疾患のより高精度な観察・治療に貢献してきました。

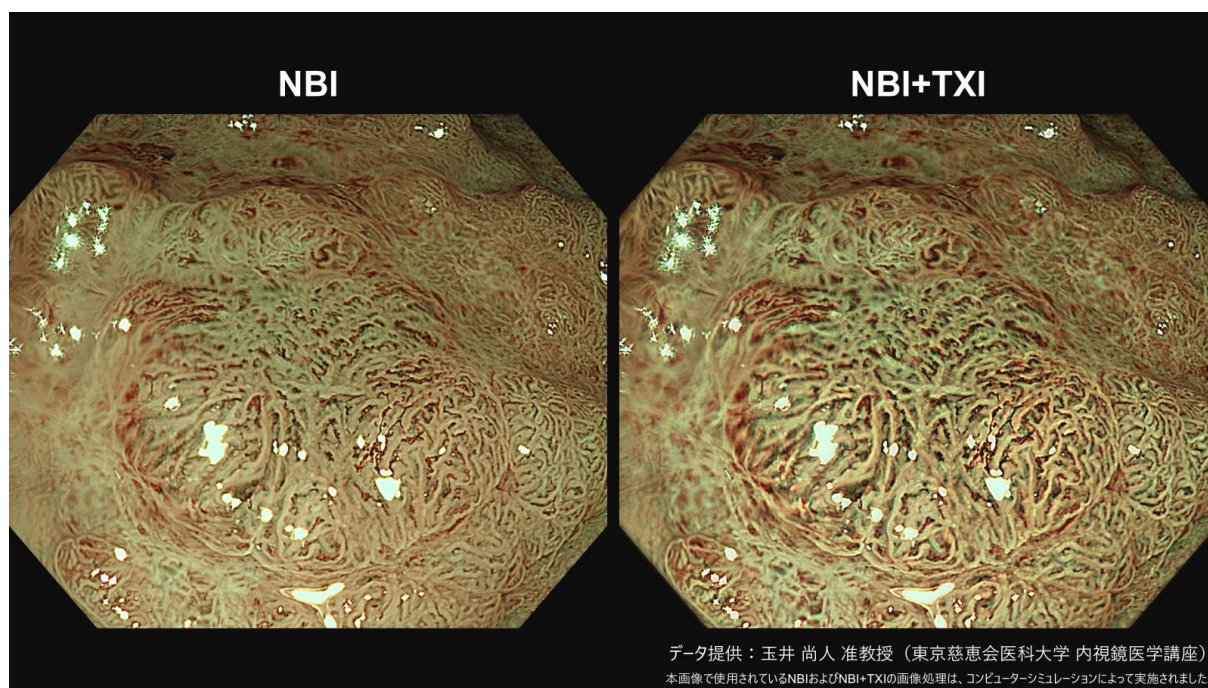
このたび、内視鏡システム「EVIS X1」のビデオシステムセンター「CV-1500」に、NBI 技術と TXI 技術を組み合わせた「NBI+TXI™ モード」が搭載されます。これにより、NBI 画像の暗部の明るさ補正やコントラスト情報が強調され、がんなどをはじめとする病変発見率および診断精度への貢献が期待されます。

■ 販売の背景

2021 年の厚生労働省の統計※¹ によると、全部位のがんの中で日本国内の罹患数第 1 位は大腸がんで 154,585 件、第 2 位は肺がんで 124,531 件、第 3 位は胃がんで 112,881 件が確認されています。これらのがんは死亡数も多く、大腸がんは 53,131 人で第 2 位、肺がんは 75,762 人で第 1 位、胃がんは 38,771 人で第 4 位という結果になっています。

病変の早期発見・早期診断は、がんの予防や治療において重要な要素です。内視鏡システム「EVIS X1」は、2020 年の発売以降、病変の発見・診断・治療の質や検査効率の向上を目指した技術により、がんなどの消化器疾患の早期発見・早期診断・低侵襲治療に貢献してきました。

NBI モードは 2006 年に世界で初めて導入された技術で、これにより今まで「見えていなかったもの」が「見える」革新を内視鏡医療にもたらしました。CV-1500 では最新の NBI モードを搭載し、初代 NBI モードと比較して明るさの向上を実現しています。一方 TXI モードは CV-1500 より搭載され、これまで通常光観察との組み合わせにおいて、その画像強調技術によって、病変部の視認性向上を図ってきました。これら 2 つの技術が 11 月より発売する CV-1500 で組み合わせ可能となることで、NBI 画像のコントラスト情報を強調し、病変の粘膜模様や血管、凹凸の視認性への貢献が期待されます。これにより、より精度の高い内視鏡検査、治療をサポートします。



左：NBI モード 右：NBI+TXI モード イメージ画像

■ NBI モードとは

血液中のヘモグロビンに強く吸収される紫（415nm）と緑（540nm）の特定の波長の光を照射することで、粘膜表層の毛細血管や微細構造が強調表示される当社独自の光デジタル法による画像強調観察機能です。これにより、がんなどの病変の早期発見に寄与します。また、拡大観察を併用することで、病変の悪性度や範囲などのより高精度な観察をサポートします。NBI モード は従来システムより搭載している技術です。

■ TXI モードとは

通常光観察下での粘膜表面の「構造」「色調」「明るさ」の 3 つの要素を最適化する画像技術です。通常光観察では見にくい画像上のわずかな色調や構造の変化が、TXI モードを活用することにより強調され、病変部などの観察性能向上に貢献することが期待されます。

■ 消化器内視鏡ソリューション事業 内視鏡事業ジェネラルマネージャー 小澤剛志 コメント

病変の早期発見が患者さんの治療成果や予後を向上させることは周知の事実です。オリンパスは、医療従事者がタイムリーな診断と治療を実現するために必要とする内視鏡技術の開発、提供に尽力しています。NBI+TXI モードにより、内視鏡システム「EVIS X1」の機能をさらに拡大し、医療水準の向上に貢献できることを大変光栄に思います。

※1 出典：厚生労働省「全国がん登録 罹患数・率 報告 2021」

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスについて

オリンパスは「私たちの存在意義」として掲げる、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を目指しています。世界をリードするメドテックカンパニーとして、私たちは医療従事者の方々と共に、病変の早期発見、診断、そして低侵襲治療に役立つ革新的なソリューション・サービスの提供を通じて対象疾患における医療水準の向上に貢献してまいります。創業から100余年、オリンパスはこれからも世界中のお客様に最適な価値をもたらす製品を提供することで、社会への貢献を目指します。詳しくはオリンパスの公式サイト（www.olympus.co.jp）ならびにX（[@Olympus_Corp_JP](https://twitter.com/Olympus_Corp_JP)）をご覧ください。

